

凍結防止についてのご案内

弊社製品につきまして、格別のお引立てを賜り厚くお礼申し上げます。
さて、寒さも増し凍結が心配される季節が近づいて参りました。
下記事項にご注意の上、処置していただくようお願い申し上げます。

＝ 記 ＝

1. 吸引機、吸引車

1-1. ポンプ(ブロウ・スパイラルポンプ)凍結のご注意

1) 凍結防止対策

- ① 一日の作業終了後、必ず各キャッチャー及び、ポンプの水抜きを行った後、**ポンプのドレンバルブを「開」にして空運転を5～10分**行ってください。(エンジン回転 約1000rpm)
- ② 空運転しても凍結するようであれば、空運転後インペラ給油口より不凍液を適宜吸引させてください。(不凍液濃度は2倍程度を推奨します。)
- ③ 極寒地区で移動中に水が凍るようであれば、3・4次キャッチャーに不凍液を使用してください。

2) 凍結した場合

「スチーム」または「お湯」で完全に氷を溶かした後、ポンプを回してください。(冷却水ラインの凍結にもご注意ください。)

3) ポンプ始動時のご注意

必ず、**アイドルングでゆっくりクラッチをつないでください**。凍結したままで急激につなぐと、ポンプのタイミングがずれ故障する可能性があり、修理には時間がかかります。また、吸引作業中でも冷却水が流れていることを必ず確認してください。(冷却水ラインの凍結にもご注意ください。)

1-2. バルブ凍結割れのご注意

水抜き後、バルブの開度を、約「**45°**」にしてください。(全開、全閉でもバルブ割れの原因となります。)

1-3. 水ポンプ付の機種について

水ポンプ下部のピーコック(ドレンバルブ)より十分に水抜きを行ってください。

水抜き後、空運転を行い、水ポンプ内の水を完全に抜き、水ポンプを停止してください。

1-4. プランジャーポンプ付の機種について

- ① 各ドレンバルブより十分に水抜きを行ってください。
- ② 洗浄ホース凍結防止のため、作業終了後ホースを取りはずすか、ホース内に不凍液を通してください。

2. 洗浄車

2-1. プランジャーポンプ凍結のご注意

1) 一日の作業終了後、必ず各ドレンバルブを開け、水タンク、プランジャーポンプ、配管内の水抜きを行ってください。また、コンプレッサー等の設備がある場合は、プランジャーポンプヘッド部カプラよりエアを入れ、ホース内の水抜きを行ってください。(詳細は、取扱説明書を参照願います。)

2) プランジャーポンプヘッドの水抜きを行ってください。

- | | | | |
|--------------------|----------|---|----------------------|
| ① ヴォーマ(WOMA) | J◇-◇◇W型 | } | 下記取扱上の注意事項を参照してください。 |
| サカビ(SACAVI) | J◇-◇◇SA型 | | |
| スギノ | J◇-◇◇S型 | | |
| スギノ(超高2段切換) | J◇-◇◇SS型 | | |
| ② マイヤー(MYER) | J◇-◇◇M型 | | |
| ハイドロバイド(HYDROVIDE) | J◇-◇◇H型 | | |

ヘッド下側のエア抜きバルブを開けた後、棒を下から差し込み、内部の吸い込みバルブを押し上げ、水抜きを行ってください。

2-2. バルブ凍結割れのご注意

水抜き後、バルブの開度を、約「**45°**」にしてください。(全開、全閉でもバルブ割れの原因となります。)

取扱上の注意事項

- ① 基本的にプランジャーポンプの空運転は行わないでください。ポンプ故障の原因となります。
- ② ポンプヘッド内の残水を抜く場合に限り、空運転を行ってください。空運転は、エンジン回転をアイドルング状態、吐出圧力は無圧の状態で行ってください。ただし、**5秒間以上の空運転は絶対に行わないでください**。

【お問い合わせ先】

東北・北海道支店
札幌営業所
東京支店
名古屋支店
大阪支店

Tel:(022)248-2991
Tel:(011)893-0861
Tel:(03)3667-7330
Tel:(052)902-5538
Tel:(072)653-1136

中四国支店
四国営業所
福岡支店
技術サービス部
品質保証部

Tel:(082)426-2131
Tel:(088)845-5511
Tel:(092)761-7761
Tel:(088)845-5511
Tel:(088)820-2900